

こんにちは！日本共産党京都市会議員 玉本なるみ

です



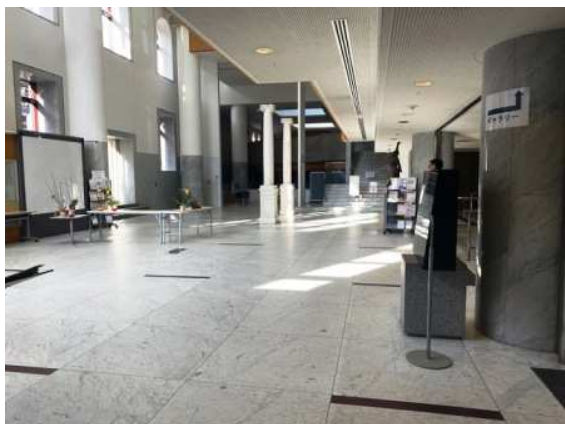
連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2025年12月①号

京都市の男女共同参画センター（中京区） （ウイングス京都）が大変！

男女共同参画を進める拠点として、位置づけられてきたウイングス京都の1階部分を京都市が、公募で4000万円（年間）で大垣書店に貸付け、書籍の販売や飲食店などを行うこととし、相談事業や男女共同参画の事業を担っている部門を和室やビデオシアター、調理室などを廃止し、2階に規模を縮小して引っ越しをすることを決めようとしています。3日の文教はぐくみ委員会の質疑では、玉本なるみ市議が提案に対して、民間の儲けのために大事な男女平等推進の施設を縮小するべきではないと質疑しました。



ウイングス京都の1階。とても広く、右横には図書コーナーも充実しています。1階の1番良いところを民間の儲けに貸し出すのは問題です。

舞鶴の話聞いてびっくり！

高市政権の下、戦争への道は着々と進められていると実感しました。舞鶴港の自衛隊基地には**2隻のイージス艦**が配備されています。**トマホーク**と言って、射程距離が1600キロの長距離ミサイルが2026年に（12億円）搭載予定。**弾薬庫**も2棟で45億円の予算で増設予定とのこと。

さらに、**司令部地下化**は、敵基地攻撃に伴う相手国からの反撃に耐え、司令部機能を維持するために建設予定。政府は反撃として核・生物・科学兵器をも想定しているとしています。司令部や舞鶴基地周辺には東舞鶴の市街地が広がっていることを示し、「何かあれば犠牲になるのは基地の周りに暮らす舞鶴市民です。司令部地下化は我々、住民を守るためのものではない」と舞鶴市民の皆さんの声も広がっています。決して、京都市民にとっても他人ごとではないと思います。



つぶやき：増田正昭さんの個展に行ってきました。

増田さんは被爆2世の方で、ずっと被爆者の方の肖像画を描き続けておられます。退職後に美大で学ばれ、どんどんと腕を上げておられ、素人ながらも感心しており応援しています。



右が増田正昭さん、絵を通じて平和の運動をされています。

京建労主婦・女性の会の60周年記念祝賀会に参加しました。

物価高騰で大変な中でも、仲間を増やし、国や自治体に対して、住宅改修助成制度や耐震改修の助成制度の拡充などを求めて活動されています。女性の組合員さんや家族を支えて頑張る主婦・女性の会の皆さんは元気で、頼りになる存在です。一緒に暮らしもし生業も良くするため頑張らなくては！



写真はしんぶん赤旗日刊紙の1面「潮流」を読む会の朗読

さらに、活動や練習の場所がないという問題もあります。もっと人間らしく、文化に親しむ生活の余裕が欲しいと叫ばずにはいられせん・・・。

などなど・・・。

日本共産党には文化関係者の方々が創っていただいている後援会があり、先日その総会に参加してきました。音楽家、美術家、書道家、歌声サークル、和太鼓の皆さん、労演など、プロとして活動されている方から、趣味として取り組んでおられる方などいろいろな皆さんの集まりです。

私は音楽も美術も大好きです。実際、和太鼓後援会に入れてもらっており、和太鼓で政治改革を応援しようという取り組みは素晴らしいと思っています。

ただ、今のように生活が厳しい、仕事に忙しいという状況の中で、つつい文化の活動は後まわしにしがちではないでしょうか。コンサートも行きたいが、チケット代が高かったり、休みが取れないなどなど・・・。

日本共産党文化後援会

アンテナ



